

平成29年8月16日

## 研修報告書

松戸市議会議員  
大塚 健児

研修:これからの時代に求められる地方議員

主催:関東若手市議の会

日時:平成28年8月16日(水) 15時~17時

場所:衆議院第二議員会館 多目的会議室

### 【研修報告】



『関東若手市議の会総会』後、北川正恭元三重県知事による講演会がありました。

これまでの時代についての簡単に振り返る。

#### ★戦後 吉田茂首相

戦後平和国家をつくるため、様々な既得権益をなくす。

#### ★池田勇人首相

吉田茂首相が耕した畑を実らせた。

一度壊した既得権益から新たな経済政策をつくる。それが、国民所得倍増計画であり、世界一の年金制度、国民健康保険制度。

10年で国民の所得を倍増するという目標を掲げ、7年で達成。

#### ★竹下登首相

1980年のプラザ合意。1年間で1ドル240円が120円の円高に。

これを機に製造業が海外に行ってしまった。大失敗。

しかし、円が強くなるということは国力が増すことと説く。

のちバブル崩壊……。

プラザ合意から国債1兆円という借金をつくってしまった。

未だプラザ合意を解決できていない。

★1990年代

現役総理大臣や副総理の逮捕等、与党内から改革が起こった。

① 公職選挙法改正(中選挙区→小選挙区)

② 政治資金規正法

とにかくお金が動き回ることを何としても食い止めるため。

★1995年 地方分権推進法

集権国家から分権国家に変わった。

今までは公害等気にしていたら商売できない……。



環境エコでなければ商売できない！

当時は政府や財界からの大反対があったが、現実を考えると時代に勝てない！

政府に言われて動く時代はもう終わった。地方創生の時代である！



(まとめ)

本日もこうして若手市議の会のメンバーによる勉強会を行った。

既得権益打破をしたいと思うが、北川先生の講演で一番印象的であったのは、『民主主義は多数決。時間がかかる』という言葉。

もっとこうしたらいいのにと日常的に感じることが多いが、どうしたら議員立法できるのか、今の時代にあった政策立案が賛成の合意形成となるのか私はじっくりと考えていきたい。

以 上